Recycle

鉄スクラップの日特集

日本鉄リサイクル工業会 副会長インタビュー

兼関西支部長

木谷謙介氏

（シマブンコーポーレーション社長）

――2019年上期の鉄スクラップマーケットを振り返って。

「昨年10月末以降の下げ基調を引き継いで、年初の鉄スクラップ価格は3年ぶりに下落スタートとなった。国内では鉄スクラップ需要自体は堅調だったものの、米中貿易摩擦やEUの関税問題などを背景に、世界的に鋼材価格が下落したためだ。その下落基調に歯止めをかけたのは、伯・ヴァーレの鉱山ダム決壊事故を受けて鉄鉱石のスポット価格が急騰した影響が大きい。鉄鉱石価格は年初の約72米ドルから2月初めには約86米ドルに急騰し、トルコなどの海外需要家が鉄スクラップ調達を進めたことから世界的に底入れムードが広がった。また、国内では自動車や産業機械のほか、土木・建築関連の鋼材需要が堅調で、電炉生産が高水準で推移したことも鉄スクラップ価格を押し上げた。3月末には年初比約6000円値上がりするなど相場は大きく持ち直し、1―3月期の鉄スクラップマーケットは需要、価格とも総じて堅調だった」

「しかしながら、4月以降の鉄スクラップ市況は再び下落基調に転じて、6月に入っても相場下落に歯止めがかかっていない。海外市場で鋼材需要が鈍化していることに加え、国内では高力ボルトなどの資材不足による建設案件の工期遅れで鋼材の荷動きが停滞している上、中国や韓国から輸入材も増えていることも要因になっている。価格は3月末比約7000円（6月26日時点）もの大きな下落となるなど、4―6月期の鉄スクラップマーケットは急速に冷え込んだ。取り巻く環境は不安定な動きが続いており、先行き警戒感は強い」

――足元は品質問題やダスト処理など立て続けに大きな課題が出ている。工業界全体の取り組みや今後の展望について。

「品質・ダスト問題の原因となっている雑品スクラップについては、中国の輸入禁止以降、一部がマレーシアなどに向けられているが、基本的には国内での処理の増加に向けた仕組みづくりが大きな課題になるだろう。品質対策については、全国規模での現状把握・対策立案のため、工業会の本部に特別委員会を設置する方針だ」

雑品、国内で仕組みづくりを

品質 ダスト問題 特別委員会を設置

「この問題に限らないが、さまざまな課題で、業界内だけではなく、外部とのコミュニケーションを通じて、問題解決の方向性を模索する必要性が高まっていると感じる。そのため、工業会としては昨年9月に普通鋼電炉工業会と1回目の協議会を持ったほか、経済産業省や環境省との各種会合で意見交換も進めてきたが、今後も伊藤弘之新会長のもと、こうした取り組みをサポートしていきたい」

――業界の活性化に向けて、若手世代の人材育成も進めていくのきっかけとなったのなら、幸いだ

――その全国大会は関西支部主管で大盛況だった。

「テーマに『新時代』を掲げるとともに、参加者が課題認識を共有し、情報を交換し、親睦を深めるという全国大会本来の役割を果たすことができたと考えている。また、前日午後には「国際鉄リサイクルフォーラム」、夕方には若手世代初の全国イベントとなる「全国青年大会議」がそれぞれ行われたが、こうした企画に参加した全国の若手がそのまま全国大会にも参加することで、より多くの人が交流・親睦を深められたと感じており、3つのイベントの相乗効果は非常に大きかった」

――関西地区では全国に先駆けて、若手世代の活動が盛んとなっている。今後、次世代に期待することは。

「本音で語り合える仲間を作ってもらいたい。そのため、関西支部の青年交流会の会則を緩和した。これまでは会員数30人を基本としていたが、今後は上限を定めないこととし、また原則35歳以下だった年齢制限も原則40歳以下と緩和した上で、40歳直前で入会した会員は45歳まで会員資格を維持できるようにした。この緩和によって、比較的長期間にわたり大勢で活動できるようになるため、今後もさまざまな活動を通じて業界の『新時代』を切り開いてくれることを期待する」

（早間　大吾）

田中訓朗氏

（エムエム建材専務）

製造工程として「品質管理」

業界浸透が解決の糸口

――鉄スクラップ業界における2019年上期総括を。

「市況は1月上旬の値下がり以後、2月中旬から値上げに転じた。この時期は国内電炉メーカーの生産が好調だったため、当面の鉄スクラップ市況も堅調推移を見込んでいた。しばらく〝国内高・海外安〟の展開が続いていたものの、海外市況が反落したことで環境は一変。3月末―4月初旬から、国内外の価格差修正的な意味合いでの値下げが始まった。5月には一服感を覚えたものの、6月以降も断続的な値下げ環境は継続している。好調だった国内電炉メーカーの生産も3―5月の3カ月連続で前年同月実績を下回った。6月も減産傾向にあることから、鉄スクラップ市況の反発ないし下げ止まりとなるような要因とはなっていない現状だ」

――下期展望は。

「3月以降、電炉メーカーは減産状況となっているが、遅くとも建材製品需要の回復が見込まれる秋口には是正されると考える。とはいえ鉄スクラップ市況に関しては、米中貿易戦争に端を発する世界経済の不透明感が続く限り、具体的展望を語ることは困難といえる。製品などの国際的な下落基調が続けば、海外鉄スクラップ市況もそれに呼応して下落するだろう。国内鉄スクラップ市況は、国内の需給環境よりもこうした外部要因の影響を強く受けると想定される」

――鉄スクラップ品質低下問題が顕在化して久しい。

「鉄そのものの性質にもよるだろうが、従来の鉄リサイクル事業は需給双方ともに、品質にはある意味〝寛容〟であった。需要側ではカスケードで回したり希釈したりするなどで原料の品質劣化を防いできた。供給側ではシュレッダー加工や事前材料段階での加工などで品質を維持してきた」

「しかし雑品取引という新分野が発生突如として消滅したことで、現状の市場は混乱に陥っている。各社が解決策を模索しているが、まず認識しておくべきことは、鉄スクラップとは、加工・選別を行って品位別に価格差を付けている以上、〝製品〟として需要家に販売している、ということである。よってその母材の購入・選別・加工においても、製品製造の工程としての品質管理が必要であるという認識を、仕入先を含めた業界全体に浸透させることが問題解決への糸口だと考える。一方で、〝製品〟を納入するからには、世間の常識を超える待機時間は問題だし、鉄スクラップの格付についてもより確かな透明性が必要だろう」

――鉄スクラップ業界で商社が果たす役割は。

「一言でいえば『出口の提案』である。〝製品〟としての鉄スクラップの品質向上のためには、不純物としての鉄以外のマテリアルの販売・処分先の出口を確保することが不可欠で、その販売・処理にはむろん経済性が担保されねばならない。商社はグループを通したさまざまな動脈産業との関係性がひとつの強みである。鉄スクラップ業界を静脈産業とするならば、商社はそこに動脈産業を連携させ、双方のビジネスに新たな付加価値を提供する存在となり得る」

――2020年以降の関東鉄スクラップ環境をどうみているか。

「まず、関東地区の建材製品需要は東京オリンピック・パラリンピック対応で中断されていた新規案件や再開発事業などの多くの具体的計画が見えており、環境に不安はない。鉄スクラップ需要も、一定のレベルが維持されるだろう」

「他方、鉄スクラップ品質低下問題は、返品などの水際対策だけでは防ぎきれないレベルにあり、2020年以降、遠くない未来に品質管理の新たなスタンダードが確立されると考える。同時に、競争力ある選別能力と、鉄を含めた多種多様なマテリアルの販売・処分能力の装備が急務と捉えている」

（松井　健人）

金属リサイクル特集 2019

7月1日は「鉄スクラップの日」 資源循環型社会の発展を支える有力企業

スクラップモニター
Radioactive Isotope Monitor

信頼の納入実績（北海道から沖縄まで全国に260台）
●様々なニーズに対応した機種を取り揃え
放射線では最も厳しい管理を行っているNSSCをはじめ高炉メーカーや大手特殊鋼、鉄スクラップ関連企業に納入。
最近では公共港湾関連や福島県での環境省関連設備への納品も増加しています。
●ゲート式スクラップ放射線モニターの特徴
1）検知能力その他基本はそのままにお客様の様々な設置条件に応じて形状や使用条件等お客様の様々なニーズに対応いたしております。
2）全国をカバーするメンテナンス体制でいかなる状況にも即応いたします。
●全国をカバーするサービス体制と検知精度自動維持及び故障対応ソフトを搭載
1）高い技術力を持った全国各地の代理店により故障発生時には状況によっては当日或いは翌日に対応可能です。
また故障状況によっては装置を停止せずに故障対応を待つバックアップソフトを搭載しています。
2）長年の校正試験によって蓄積したデータから、シンチレーター経年劣化による検知精度の低下を自動的に修正することにより、
校正試験の回数を減らすことが可能となったことで維持コストの削減と検知精度の長時間維持を実現。
株式会社 テック・デル TECH DEL　〒673-0005　兵庫県明石市小久保120-55　A-105号
TEL:078-927-0780　FAX:078-927-0781
http://www.tech-del.jp/

金属リサイクルに、さらなる進化を。純度の限界を、打ち砕け。
常識を、粉々に。
金属リサイクル業界に新風を吹かせた「スーパーシュレッダー」に続く破砕機登場！
優れた単体分離性　画期的破砕粒度調整機構
省エネ＆省スペース　両方向回転ローター
処理対象物｜自動車電装用モーター、小型家電、家電4品目、不燃粗大ゴミなど

V-BUSTER ブイバスター
KINKI 近畿工業株式会社　本社／〒650-0023 兵庫県神戸市中央区栄町通4丁目2番18号 ☎078-351-0770
http://www.kinkikogyo.co.jp
東京支店／☎03-3273-6057　三木工場／☎0794-82-0100　名古屋営業所／☎052-220-6651　九州営業所／☎0942-34-6053

〝ワケル技術〟で金属リサイクルをサポート
非鉄スクラップ用 はさみ式切断機

HAS250型油圧式 アリゲーターシャーリング
雑線国内処理の切り札

WN-2400型（中型） 湿式ナゲットプラント
更に使い易さ向上 新型剥線機

KOS-MT型 剥線機
電線処理機メーカー 三立機械工業 株式会社 sanritsu machine industry co.,ltd
経済産業省認可組合　日本資源機械工業協同組合会員
本社・工場 〒263-0002　千葉市稲毛区山王町335
TEL.043-304-7511(代)　FAX.043-304-7512
URL：http://www.sanritsu-machine.com

You name it – We sort it お望み通りに選別します。

廃棄物センサー選別機のパイオニア
TOMRA
トムラソーティング 選別機
廃棄物用センサー選別機のパイオニア
“TOMRA”だからできること
優れた選別に必要な3つのファクター
①よい目（センサー）でしっかり検知・認識
②検知した対象物を確実に吹き飛ばす
③原料・仕様を熟知したプログラミング技術
～選別テスト随時受け付け中～　TOMRAの性能を実感ください
トムラソーティング株式会社　〒336-0033　埼玉県さいたま市南区曲本 3－2－5
TEL：048－711－3135　FAX：048－829－9082
info-japan@tomrasorting.com　http://www.tomra.com/jp

X線金属成分分析器

日本語対応した三洋オリジナル判別プログラム
エックスメット X-MET8000
三洋貿易株式会社 金属分析チーム
〒101-0054　東京都千代田区神田錦町2-11
TEL: 03-3518-1196 FAX: 03-3518-1237　担当：浦野

OLYMPUS　100 YEARS
金属の成分を現場で素早く分析！
合金品種の判定
有害物質のスクリーニング
めっき厚測定

成分元素濃度の結果表示
めっき厚測定の結果表示
ハンドヘルド蛍光X線分析計 VANTA
簡単に使えます
詳細はお近くのオリンパス、または下記までお気軽にお問い合わせください
お客様相談センター：0120-58-0414（平日 8:45～17:30）
オリンパス株式会社 www.olympus-ims.com
展示会情報　実機を手にとって確認するチャンスです！ぜひご来場ください。
第9回 非破壊評価総合展
会期 2019年7月24日～26日　会場 東京ビッグサイト 西2ホール　ブース番号 W2C-29